

中央高等学園専修学校入学式祝辞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。北栄町の町長の手嶋です。ようこそ、北栄町にある学校へ。

義務教育期間を終了し、今日からは、自らが選択した高校生活が始まります。新しい生活は、何かとワクワク感と不安な気持ちが入り混じっているものです。でも、心配はいりません。ここには、やさしく、熱い思いのある先生方ばかりです。悩みを共有できる友達や先輩もいます。ぜひ相談してください。皆さんは、決して、一人ではありません。

今、私は、「心配いりません」と言いましたが、決して、根拠のない言葉ではありません。それは、3年間通い、3年後の卒業式を経験すれば、その答えが出ているからです。

これから、将来に向けて、具体的な目標が決まってきます。その目標を達成するためにひたすら努力を続けてください。

こういうお話があります。今朝も早くからテレビ放送がありましたが、ゴルフの最高峰、マスターズ・トーナメントに出場している、アジア人で初めての優勝。日本人で初めて、メジャーで優勝した松山英樹選手の話です。

「才能は有限、努力は無限」という言葉があります。松山英樹選手は、毎日、その言葉を見て、練習していたそうです。自分の限界を決めずに、自分の目標に向かって、地味な反復練習でも毎日、毎日、繰り返し、続けられたそうです。

皆さんも目標に向かって、ひたすら努力してみましよう。

この学校は、町や地域との関りを大切される学校です。地域の方と一緒にカフェを運営したり、ボランティア活動をしたり、また町の行事にも積極的に参加していただいています。

皆さんの力も大いに期待しています。

3年後には、就職か進学か決定することになりますが、いつかは、この鳥取県、中部、北栄町もその進路先の候補にいられていただけたらと思います。

ご家族の皆さまにおかれましては、このように立派に成長されたお子様のご入学、感慨もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。これからも、いろんな壁にあたり、いろいろと悩むことがあると思いますが、しっかり向き合っ
て、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスいただきますよう、よろしく申し上げます。

校長先生をはじめとする諸先生におかれましては、新入生が一日でも早く、学校に慣れ、高校生活が順調にいくようよろしく申し上げます。

(終わりに)

新入生のすこやかな成長を祈念し、私からのお祝いのあいさつとさせていただきます。

令和6年4月12日

北栄町長 手嶋俊樹